

I ま え が き

平成25年度の一般会計歳入予算の市税全体では、「グットサイクルのまちづくり」の成果が、都市としての魅力の高い評価に着実に現れていることなどにより、家屋の新增築が堅調に推移し固定資産税が増加するなど、前年度との比較で1.8%増加すると見込んでおります。しかしながら、リーマンショック以前の水準には回復していない状況に変わりはなく、依然として厳しい財政運営を余儀なくされているところでございます。

また、今般の国の経済対策に期待する一方、新たな政権による今後の政策や制度変更等が、本市財政にどのような影響を及ぼすのか注視するとともに、引き続き、地方が必要とする財源の安定的な確保に向け、国に働きかけていかなければならないと考えております。

このように、本市を取り巻く社会経済環境が大きくかつ急速に変化している今だからこそ、「地方自治」の原点である市民生活の安全・安心の確保という責務をしっかりと果たすとともに、新たな課題についても着実に対応していくことが重要であると考えております。

平成25年度予算は、「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画と「第4次改革プラン」の最終年次の予算として、144万市民がいきいきと心豊かに暮らせる「元気都市かわさき」が続いていくよう、環境の変化に的確かつ機動的に対応しながら、計画事業を着実に推進するために必要な事業費を計上するとともに、行財政改革の取組を確実に反映いたしました。

今後も、「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の実現に向け、行財政改革の手を緩めることなく、改革の取組を着実に推進し、持続可能な財政構造を構築してまいります。

平成25年度予算及び平成24年度予算執行のあらましなどは、以下のとおりです。